裁判員等経験者の意見交換会（第28回）開催概要

広島地方裁判所

開催日　令和７年２月５日（水）
参加者　裁判員等経験者６名
裁判官２名
（経験者が参加した事件を担当した裁判官）
検察官１名
弁護士１名
傍聴者　報道関係者５名、大学生７名

【意見交換会の話題事項】
1　裁判員裁判に参加した感想等
2　分かりやすい審理及び評議の在り方
3　裁判に参加するに当たっての苦労、不安等

話題事項１：裁判員裁判に参加した感想等

裁判員を経験して良かったと思います。 これまで裁判というのはニュースで見るくらいだったので、あまり現実的に捉えてなかった部分もありましたが、裁判員を経験して、裁判を身近に感じるようになりました。 たくさんの方に裁判員を経験してもらうことで、透明性が高く公正な裁判に繋がっていけばよいと思います。 また選ばれれば参加したいです。

貴重な体験ができました。今まで裁判はテレビなどマスコミでしか見ていなかったので、血が通わない机上の話が多いのかなと思っていましたが、大変丁寧な評議をしていることを身をもって知ることができました。

話題事項２－１：分かりやすい審理及び評議の在り方（冒頭陳述から証拠調べの流れについて）

しっかりまとめられた冒頭陳述メモが、すごく分かりやすかったです。 ただし、パワーポイントの使い方の工夫があるとより良かったと思います。例えば、文章をずっとパワーポイントで流すのではなく、要点をまとめる、表やグラフをもっと活用するなどすると、理解が早く深まったと思います。

初めて法廷に行ったときは、何に注目して聴けばいいのか全く分からず、かなり余裕のない状態で聴いていました。始まる前の事前準備の時間を少し多く設けて説明があれば、もう少し余裕を持って話を聴くこともできたかもしれないと思いました。

話題事項２－２：分かりやすい審理及び評議の在り方（量刑グラフについて）

量刑グラフは大切な資料ですが、見てしまうとどうしてもこの範囲で収まるんだろうと思ってしまうので、良い面と悪い面があると思います。また、被告人の背景事情など色々な情報を知ったうえで、量刑グラフを見ると幅がある中でどのように考えるべきか悩んでしまうというのが難しく感じました。

量刑を決めるときに、量刑グラフを使用して色々条件を変えながら時間をかけて考えましたが、量刑にも幅がある中で、どれくらいが妥当なのかということを判断することは難しかったので、担当した事件の量刑に限りなく近いものを絞り込んで示してもらえると分かりやすかったと思います。

話題事項２－３：分かりやすい審理及び評議の在り方（裁判官の説明や進行について）

評議の中で、人間なのでどうしても感情が出てしまったり、背景事情など色々なことが気になってしまうのですが、裁判官にリードしていただいて、納得しながら証拠に基づいた結論を出すことができたと思います。

人の意見を絶対に否定しないと決めて評議をしたので、意見を言いやすい環境でした。疑問に思うことはその都度説明をしてもらえたので、納得いくまで話し合いができました。

話題事項３：裁判に参加するに当たっての苦労、不安等

会社の休暇制度が整っており、理解もあったので裁判員に参加できました。ただ、家族から参加して大丈夫？というような声もあったので、そのような雰囲気を無くすことが必要だと思います。私は、図書館に行って裁判員が書かれた手記などを読み、肩ひじ張らなくてよいということが分かったので参加することにしました。

週に１回この曜日は都合がつかないというときに、それでは参加できないとなると参加可能な方が減ってしまうので、柔軟に日程を検討してもらえると参加がしやすくなると思います。

傍聴者からの質問事項１：裁判員候補者に選ばれたときに最初に感じた印象を教えてください。

最初はびっくりしました。嫌だなという気持ちはありましたが、参加するのが当たり前だと思っていたので、参加することは決めていました。

最初は自分が選ばれるとは思っていませんでした。選ばれたときは私にできるかなという不安はありましたが、めったにない機会なので参加しようと思いました。

傍聴者からの質問事項２：裁判員制度が定着するためには、今後どうあるべきだと思いますか。

裁判員制度を実施する意義や目的は間違いなくあると思うので、もっと広報活動をしてＰＲしたらよいと思います。

職場や家族などその人の置かれた状況や立場で参加できるかどうかが決まってくると思います。参加したくても周囲の理解がなければ参加できないので、理解が進んでいったらよいと思います。

傍聴者からの質問事項３：量刑グラフを見るタイミングについてどのように思いますか。

量刑グラフを見るのが遅ければ遅いほど、量刑グラフに捉われることのない議論ができるのではないかと思います。

量刑グラフは慎重に使わなければいけないという説明を受けてから見たので、適切なタイミングで裁判官から見せてもらえたと思います。

傍聴者からの質問事項４：今後も裁判員制度は必要だと感じますか。

大切な制度だと思います。自分の知識が増え、経験値が上がる貴重な体験なので、もっと若いときに経験できたらよかったと思いました。

裁判員の一般的な感覚が公平な裁判に寄与していくと思うので、必要な制度であると思うし、どんどん参加していったらよいと思います。